土岐市の副業・兼業人材活用事業報告会

販促に都市部専門家採用

土岐市が人材マッチングサイト「Ｓｋｉｌｌ Ｓｈｉｆｔ（スキルシフト）」を運営する人材サービス会社みらいワークス（東京都）など3者と連携して本年度始めた副業・兼業人材活用事業の報告会が、同市土岐津町高山の土岐商工会議所で開かれた。事業を利用した市内6社が販売促進やマーケティングに都市部の専門人材を採用し力を借りた取り組みを発表した。（小森直人）



都市部の専門人材から力を借りた事例を発表する伊藤克紀社長（左端）＝土岐市土岐津町高山、土岐商工会議所

利用の６社発表 データ活用、助言

事業には同商議所、東濃信用金庫が協力。市内9社が同サイトに求人を掲載しマッチングの支援を受けた。各社11～24人の応募があり、7社は採用に至った。

このうちカネコ小兵製陶所（下石町）は、イベントやネット販売で蓄積してきた顧客データの分析能力を持つ人材を募り、14人の応募者からコンサルティング会社の経営者を採用。昨年10月から半年間、月1、2回、オンラインでミーティングを重ねたほか、一度は来社して工場や商品を見てもらい、データ活用、マーケティング戦略などの助言を受けた。伊藤克紀社長は「これまでは顧客データがバラバラで生かせていなかった。有意義、有効な示唆を頂き、どこにアプローチすれば良いかが明確になった」と述べた。

他の経営者からは「立派な肩書の人ばかりで選考で悩んだ」「課題が明確ではなく勉強した上で利用すればよかった」といった報告もあった。市などは２０２４年度も事業を継続する予定。

無断複製・転載を禁じます